
ガラスの靴を、もういちど・・・

晴耕雨読。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ガラスの靴を、もういちど・・・

【Nコード】

N4164P

【作者名】

晴耕雨読。

【あらすじ】

“少女は王子様に見初められて、しあわせに暮らしましたとさ。”
――その物語の結末を見た魔法使いだけが、《シンデレラ》の恋が実ることはないと知ったのでした。

魔法使いは 出会った

光を紡いだような金髪。

穏やかな海を思わせる瞳。

あの頃と変わらぬ 思い出の場所で

魔法使いは わかった

心が、 身体が

己が、 記憶が

あの人こそが求めていた人だと

魔法使いは なやんだ

すべてが 変わってしまった己と

すべてが 変わらないままのあの人

どうすれば あの頃に戻れるのだろうか？

魔法使いは さずけた

少女に 美しいドレスを

かぼちゃの馬車を ティアラを

それから、 - - - 小さなガラスの靴を

魔法使いは ひそんだ

少女が行く 舞踏会に

王子がいる その場所に

だって、少女を選ぶかどうか不安だったから

魔法使いは わらった

少女と王子が踊っている姿を見て

海色の 熱い眼差しを見て

…… ああ、これが“ハッピーエンド”なのか

魔法使いは みつめた

寄り添う 幸せな二人を

少女が履いている 小さなガラスの靴を

- - - 前世^{かつて}の己^{シンデレラ}が履いていた、その靴を

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4164p/>

ガラスの靴を、もういちど・・・

2011年10月7日15時29分発行